医療法人

オホーツク勤労者医療協会

contents

事業所紹介

看護理念・民医連とは

看護部門紹介

外来,病棟,地域医療連携・退院支援室,訪問看護

職員教育・育成

働きやすい職場作り

子育て支援・リフ・年休・育休

高校生・看護学生のみなさんへ

奨学金制度

北見病院までのアクセス

事業所紹介

オホーツク勤労者医療協会は、医療と介護を一体して提供できるよう、病院と8の介護事業所、高齢者住宅をもつ医療法人です。

看護職員は、北見病院の外来と病棟・退院支援室、訪問看護ステーションの約50人が配置され、日々の看護実践を展開しています。

職員が地域に出て健康相談会を開いたり、健康祭りなど、地域の人たちと手を繋ぎ、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指し活動しています。私たちの活動を地域で一緒に行ってくれる“友の会”という組織があるのが特徴です。

また、よい看護を提供するためには平和な世の中であることが大切です。核兵器廃絶や憲法を守る活動を続けています。

看護理念

- わたしたち看護師は患者さん・利用者さんを主人公に、安全・安心の看護をめざします
- わたしたち看護師は常に学ぶ姿勢を忘れず、なんでも相談できる看護師をめざします
- わたしたち看護師は友の会・地域のみなさんといっしょに看護活動を通し、地域に貢献します
- わたしたち看護師は命が大切にされる社会をめざし努力します

オホーツク勤医協の看護師は病院、訪問看護ステーションにおいて、患者さん・利用者さんを中心とし、様々な職種と連携・協同して医療と看護を実践しています。困難をかかえていても、あきらめず心に寄り添い「人間らしく、その人らしく生きていくこと」を援助し、無差別平等の看護を実践することが私たち看護職員共通の目標です。

民医連とは（勤医協の加盟組織）

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、これらの連合会として1953年に結成されました。以後、半世紀以上にわたって地域の人々に支えられ、身近な医療機関として活動しています。

民医連は、地域医療に力を入れている病院が多く「医療に格差があってはならない、いのちは皆、平等」「働く人々の医療機関」として出発し、いまでは保健予防から医療・福祉・介護・生活支援まで幅広く活動しています。医療制度を改善する運動もすすめ、「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料はいただいていません。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

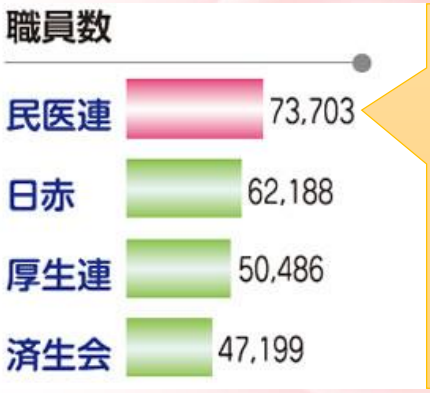
現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1700カ所を超え、約7万4千人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約318万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。

Check!!

実は、民医連は全国規模の医療・介護・福祉の組織!!
そして、長い歴史があります

主な医療団体との比較

民医連：事業所数は2013年1月現在。
それ以外は2012年10月現在。
日　赤：2012年3月31日現在。
厚生連：2012年3月現在。
済生会：2012年4月現在。
注　診療所数は歯科診療所を含まない。



全国規模で見ると他の団体に負けないくらいの職員数!!

看護部門紹介　～　外来（内科）

地域の皆さんの健康を守る

外来には**1日150人前後**の患者さんが来院されます。週1回は働く地域のみなさんが受診できるように“**夜間診療**”を行っています。また、病院受診が困難な患者さんが治療を継続できるように“**訪問診療**”も行っています。外来看護師は医師のサポートだけでなく、患者さんや家族の気持ちを聞き出し支え、寄り添った治療・療養ができるようにする役割もあり、とてもやりがいのある職場です。

チームで実践する外来看護

患者さんの中には困っていることを周りに相談できない方、家族が困っている方など様々なケースがあります。外来では困っていることに耳を傾け話を聞き、すぐに結論を出すのではなく外来看護師や医師で“カンファレンス”を行ったり、場合によってはケアマネジャーや医療相談員などを含めた多職種カンファレンスを行っています。地域のことも一緒に考え、安心した治療や生活ができるように看護を提供しています。

20代の看護師さんから見た外来のイメージはどうですか？

初めはベテランさんが多くて、私にとっては“怖い”というのが素直なイメージでした。ですが、働いてみると、患者さんに対する丁寧さで、新人の私にも指導してくれました。毎日知識・技術面で壁に当たっていますが、やさしく助言していただき、とても働らきやすさを感じています。

看護部門紹介　～　病棟

一般病床と地域包括ケア病床という2つの病床がある病棟です。

病床数は地域包括31床、一般14床の計45床あります。

介護福祉士・ヘルパーなどのスタッフと一緒に働いています。

家庭を持っているスタッフが多く、子育てをしているママさんや、男性看護師も在籍し、皆で協力しながら働いています。

入院患者さんの多くは高齢者ですが、糖尿病教育や検査などで入院する壮年期の患者さんもいます。

主に、急性期の治療を終えた患者さんや、癌終末期・認知症の患者さんを受け入れています。基本的な日常生活援助や診療の補助のほか、個別性のある看護を提供できるよう日々励んでいます。また、定期的な学習会をして、職員のスキルアップを図っています。

点滴の準備

限られた入院期間の中で安心して療養し、その人が望む生活の場へ送り出せるよう、患者さん・家族に寄り添い、意思決定を支援する看護に力を入れています。

～患者さんの願いを支援する病棟看護～

ケース①　食事が自分でとれず、姿勢が崩れていた患者さんに、ピッタリの入れ歯を入れたことで姿勢が整い、自分で食事がとれるようになり退院しました。

ケース②　肺炎で入退院を繰り返していた患者さん。病院が嫌いで家に帰りたいと言ってました。

最期まで自宅で過ごしたいという患者さんの願いをご家族に伝え、自宅退院に向けた支援をチームで話し合いました。

カンファレンスの様子

看護部門紹介

地域医療連携・退院支援室

住み慣れた場所での生活に
困らないよう患者さんをサポートする

☆初めての北見病院にかかる患者様にも安心してきてもらえるように入院依頼や外来受診に関する相談窓口となるよう心がけています。

☆退院支援の役割

　住み慣れた場所、あるいは望む場所で、できる限りその人らしく尊厳を持って生活できるように、患者さんや・家族の方々への「意思決定支援」「セルフケア支援」などを行っています。退院後もその人に合ったケアが継続されるように、病院の医療チームと在宅や施設で関わる方たちの橋渡しを行っています。

看護部門紹介～訪問看護

（訪問看護ステーションたんぽぽ）

訪問看護ステーションたんぽぽは、およそ100名の方が利用しています。さらに、同じ施設内にある「通い」「訪問」「泊まり」これら3つの機能を果たす看護小規模多機能たんぽぽと連携し、看護サービスを同時に提供しています。

幅広い看護サービスを提供

訪問看護では、小児から100歳以上と幅広い年代の方への訪問看護サービスを行なっています。

小児の研修会等に参加するなど小児看護の理解を深め、年齢や病気を限定せず看護の提供をすることが可能になるよう努めています。

利用者さんに寄り添った訪問看護を

1年に一度、アンケート調査を実施しています。

利用者さんからの声を聞くことで、私達の行っている看護を振り返り、今後の訪問看護に活かしています。

「訪問看護を何年もしていますが、アンケートを取ると新たな要望や思いが出てきます。利用者さんに寄り添うことでその時の地域の要望に応えるとともに、私たちも成長できます。」

訪問看護の魅力

- 生活の場に伺うため、利用者さんの生活史に触れながら看護ができます。
- 自宅にあるもので工夫をこらし、治療や療養にうまくつながったときのやりがいが大きいです。
- 終末期の看取りを行っています。
  揺れ動く本人や家族の思いに寄り添い続けながら「最期まで住み慣れた場所で」「その人らしく生きる」サポートをしています。

職員教育・育成

● 目標育成面接と連動したクリニカルラダーをもとに、

看護職員の育成を支援しています。

新卒離職率
0%！

● プリセプターシップ体制を導入しています。

*プリセプターシップ体制とは･･･
一人の先輩看護師がある一定の期間、一人の新人看護師に対して、マンツーマンで臨床実践を指導する方法です。新人看護師の看護実践能力の獲得を支援する教育体制のことをいいます。

● 卒後1～3年目、中堅看護師対象の制度研修を実施し、

法人外の研修会にも参加しています。

また、看護研究への取り組みも積極的に行い、院外発表も行っています。

そのほかにも民医連の学習会や全道・全国の研修も豊富！！

働きやすい職場作り

子育てサポートしています
2014年認定事業主

働き続けられる職場作りを目標

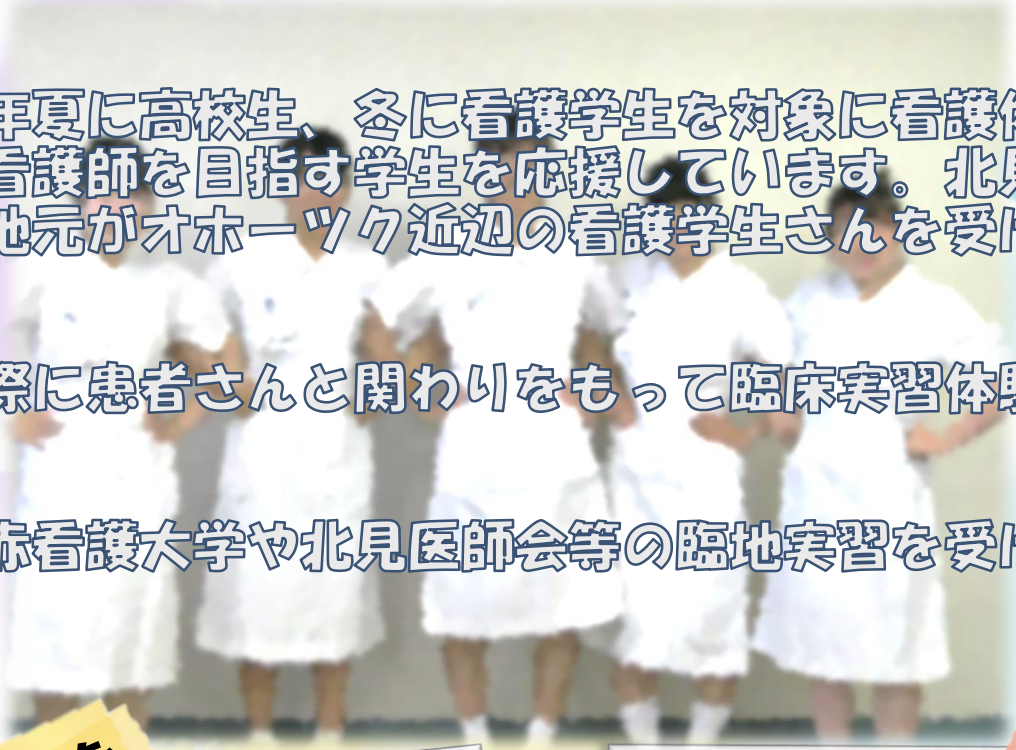
育児休業制度の利用率70％
年休消化率50～60％

子の看護休暇、介護休暇制度があります

年間5日間のリフレッシュ休暇制度があります

職員1人ひとりが大切にされ、みんなで育ちあえる職場作りをめざしています
子育てと仕事の両立をしたいと入職希望する看護職が多いのが特徴!!

高校生・看護学生のみなさんへ



●毎年夏に高校生、冬に看護学生を対象に看護体験を実施し、看護師を目指す学生を応援しています。北見市内の高校、地元がオホーツク近辺の看護学生さんを受けいれています。

●実際に患者さんと関わりをもって臨床実習体験ができます。

●日赤看護大学や北見医師会等の臨地実習を受け入れています。

聴診器の音を聞いてみよう

☆体験者の声☆この体験をするまで保健師か看護師かを迷っていましたが、体験を通じて看護師になろうと決めました！（高校2年生）

血圧測定

☆体験者の声☆患者さんとのコミュニケーションが楽しくて緊張もとけた。もっとこういう体験がしたいなと思った。（高校3年生）

はじめての点滴

☆体験者の声☆初めての体験!!
すごく貴重な体験をさせてもらいました（高校3年生）

ベッドメイキング

☆体験者の声☆患者役としても経験して、看護師がどのようにしたら苦痛を与えられず看護実践を行うべきか知ることができました。（看護学生1年生）

他にも･･･勤医協について漠然なイメージしかなかったけど、様々なことを教えていただいてイメージが沸き、体験できてとてもよかったと思いました♪（看護学生１年生） etc…

奨学金制度

患者さんや地域住民の立場に立ち、親切で良い看護を目指す看護学生が対象です。勤医協の後継者の育成を目指しています。奨学金は看護学生の生活を多少でも支援できるように設けられています。

- 応募資格：看護学校・看護大学の学生であれば、どの学校、どの学年からでも受けられます
- 応募時期：随時
- 応募方法：オホーツク勤医協に電話、又はメールで連絡
- 選考方法：書類審査・面接
- 貸与額：月額40000円
- 貸与期間：貸与開始～卒業する月まで
- 返済について：看護師資格取得後、奨学金貸与期間と同期間、オホーツク勤医協に勤務した場合、返済が免除されます。

連絡先：オホーツク勤医協　北見病院　総看護師長

TEL：0157-26-1300（内線154）

✉：okk@o-kinikyo.or.jp　名前・住所・連絡先・学校名記入

奨学生になったら・・・

・夏休み・冬休みの期間中に看護体験、実習ができます

バイタルサイン測定
シーツ交換
フィジカル学習など

・奨学生が集まり交流や学習など楽しい企画に参加できます

みんなでランチ
プチ学習会など

・北海道民医連医系学生の集いに参加できます

道内の医系学生と
交流＆学習会など
のイベント

・学生生活、学業の相談ができます

勉強や学校生活での悩み
なんでも相談に乗ります！
卒業生からのアドバイスも
あるかもしれません★

・過去の奨学生からのコメント

H25年度
網走高看卒

看護学生は忙しい！講義、演習、実習、レポート、文献探し、グループワークなどなど。アルバイトをしたくてもなかなか時間を捻出できません。少なくとも私はそうでした。そんな私にとって奨学金は、経済的な不安を軽減できるありがたい制度。就労してからお金の返済は不要なので、卒業後も安心でした。

H22年度
北見医師会卒

夏休みや冬休みなどを利用して実習をしてもらえるなど、学生の間もサポートしてもらえました。職場のサポートがしっかりしており働きやすい職場で、ずっと働き続けています。

北見病院までのアクセス

バス

①光西町線　停留所「常盤公園前」
②上常呂・訓子府・勝山線　「中の島公園入口」

タクシー

駅から約6分　（約700円）

自家用車

①南大通りから入る場合はセイコーマートと清水税理士事務所さんから曲がる
②常盤通りから入る場合は、北海美装さんから曲がる
※案内看板「勤医協北見病院」が近くにあります。

オホーツク勤医協 関連施MAP

事業所一覧

医療と介護を一体で提供し
「安心して住み続けられるまちづくり」
をめざします

医療法人オホーツク勤労者医療協会

理事長：堺　慎

- 〒090-0817　北見市常盤町5丁目7－5
- TEL0157-26-1300　FAX0157-26-4766
- ホームページ　http://www.o-kinikyo.or.jp

民医連